

# 蓮華 新年

元旦

## 新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、日頃より伊ワサキ経営グループをご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、我が国の経済・社会はもとより、中小企業にとっても深刻な影響を受けました。オリンピックまでが延期になるなど、いまだかつて誰も経験したことのない不安定、不透明な事業環境に陥り、その影響は今のところ完全な収束が見通せず、正常化に至るまでは長期戦が予想されます。

しかし、コロナ禍を通して、我々は、多くのことを学ぶこともできました。ネガティブな要因となるばかりではなく、「変化の10年前倒し」と捉え、様々な改革を行い成果を出している企業も出てきております。

私たちは、下を向いてばかりではいけません。このコロナ禍をチャンスと捉え、様々な改革を行う絶好の機会としていく



あなたの中のリーダー「正しく学ぶ」  
常務取締役 菊地 晃

「生きのびるための知識・技術・経験を集めることが勉強」と言われています。

私自身古参ですが、知らないことがあると不安なので知ろうと努力をします。自分の置かれている状況を把握して先を見出す力を身に着ける努力をします。知ることは楽しい。勉強は生き残るためのDNAの仕業のようであると感じています。

新型コロナウイルス感染症という過去に出会ったことのない脅威からの新しい生活・経営環境に対応するため、正しく学び、正しい情報を見極めて自社及びお客様の繁栄のため正しい情報を提供していきたいと思ひます。



芽吹き  
取締役 高島 正明

謹んで新春のお慶び申し上げます。昨年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。

昨年はコロナ一色の1年で、従前の考え方・働き方・行動等の大きな変化を求められた事であったと思ひます。今年の干支は「丑年」です。古くから農業等で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、我慢(耐える)、これから発展する前触れ(芽が出る)という年になると言われているようです。

コロナを克服し、その中から数々のイノベーションが生まれ、希望に満ちた年になる事を願ひます。



## 令和3年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。また昨年は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年始めごろより世界的な新型コロナウイルス感染症蔓延という未曾有の危機が訪れ、日本中が未だ収束の目途が立たない困難な状況にあります。そのようなコロナ禍において、中小企業を取り巻く環境も激変する中、オンラインやIT技術を中心とした新しい技術や取り組みで危機を乗り越えようとする、人知の力を強く感じる一年でありました。

今年、アメリカ新大統領就任、延期となった東京オリンピックの開催など引き続き世界との繋がりを感じる一年となりますが、我々も時代の変化に取り残されることのないよう学びを止めず、学びか



変化の中でも原理原則  
取締役 小宮山 麗子

新年あけましておめでとうございます。年中はコロナを原因として事業のビジネスのあり方や人の働き方に大きな変化がありました。今年もその状況は加速していくことと思ひます。その中で今年の資産税の柱は2本。

- ・新旧良いとこどりのお客様との心の通わせ方を発見する。
- ・社内メンバー全員で世の中の変化に食らいつく。

環境の変化にかかわらずお客様の問題を解決することが私たちの仕事です。牛さんの勤勉さと実直さで、お客様からのありがとうをいただけるよう目指します。

本年もどうかよろしくお願ひいたします。



先見経営で目標達成  
取締役 村田 圭

あけましておめでとうございます。

誰もが初めて経験しているコロナ禍における経営、急速に展開していく時代の流れの中での経営判断が求められる今を経営者の皆様が乗り切るためのサポートがしたい。そんな想いから経営計画立案から目標達成をお手伝いするVIPコンサルティングサービスを昨年よりスタートいたしました。今年も1社でも多くの皆様の成功のお手伝いをしたいと思ひます。

先のわからない経営から自社の行き先を定めて突き進む経営に変革させていくサポートを精一杯取り組む1年にしたいと思ひます。



ら得た情報をお客さまに提供するという従来の活動をより充実させて地域に貢献していきます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役会長 岩崎 一 雄  
岩崎 千鶴子